

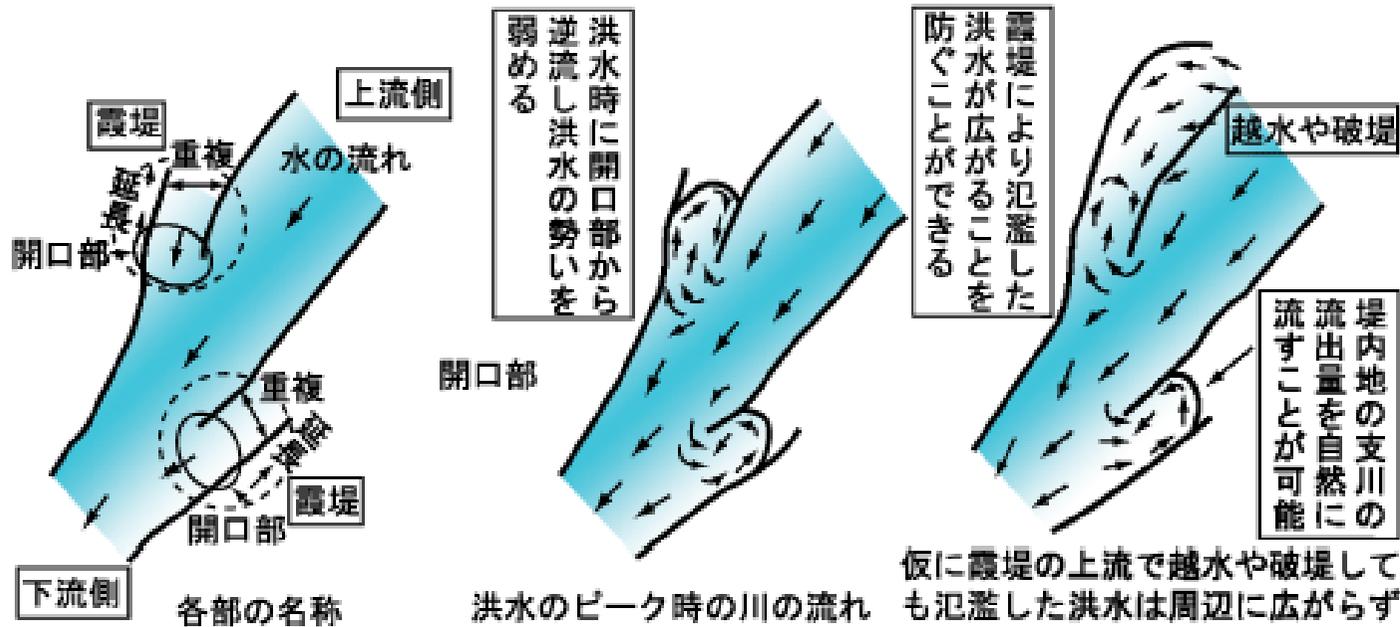
渚滑川水系河川整備計画について 参考資料

霞堤



渚滑川水系 鴻輝川

霞堤のはたらき

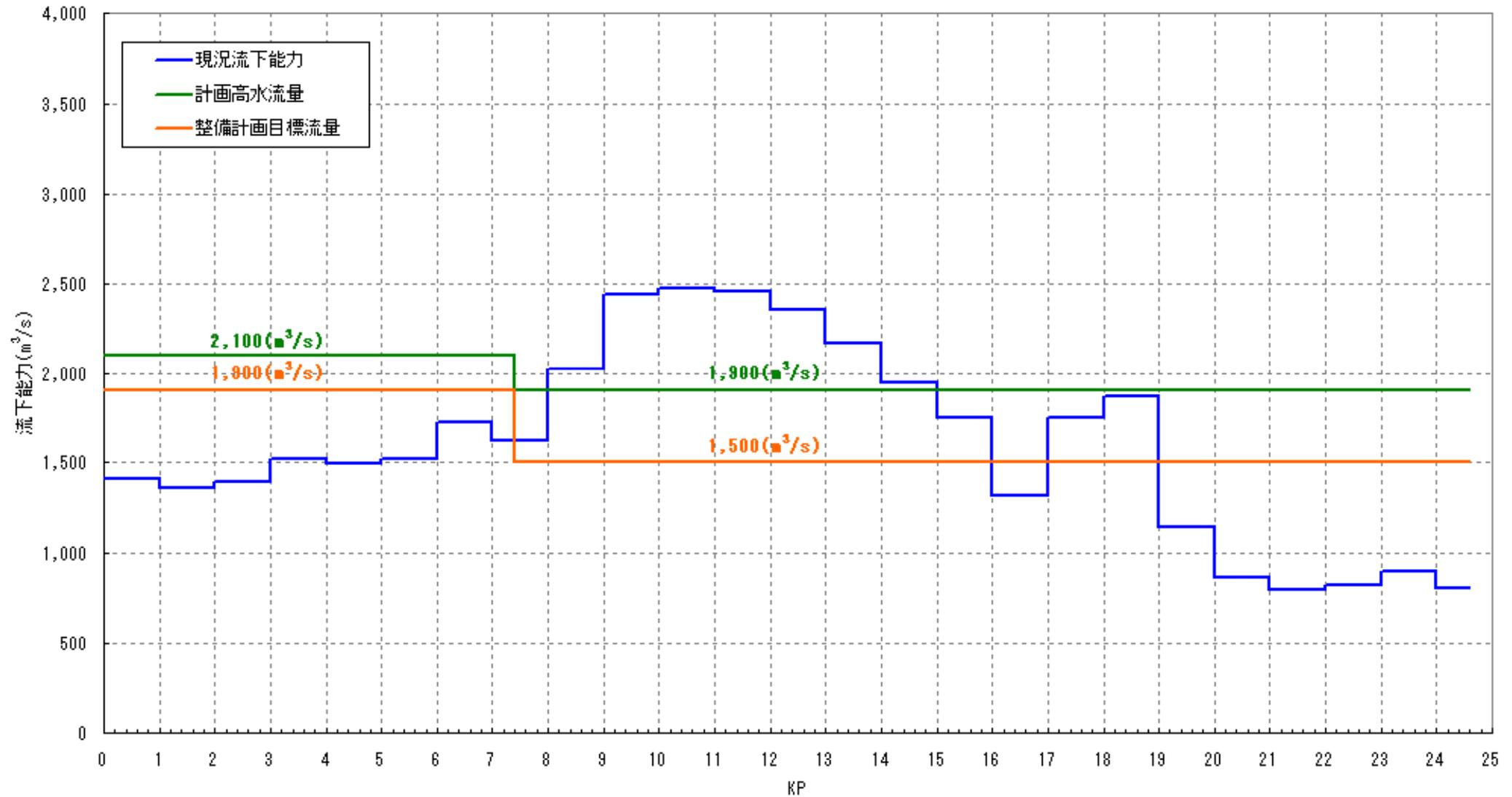


ケシヨウヤナギ

ケシヨウヤナギは、長野の上高地（梓川）と十勝の河川、網走の渚滑川に分布。
紅色の一年生枝及び白色の粉からケシヨウヤナギ(化粧柳)と呼ばれる。(ヤナギ類その見分け方と使い方：斎藤新一郎,2001)
ケシヨウヤナギは雄木と雌木があり、6月中旬から7月頃に綿毛をつけた種子を飛散させる。樹高は20m～30m程になる。



渚滑川水系 渚滑川 現況流下能力図



土地利用等を踏まえその実態に応じた方法により 被害の軽減を図る

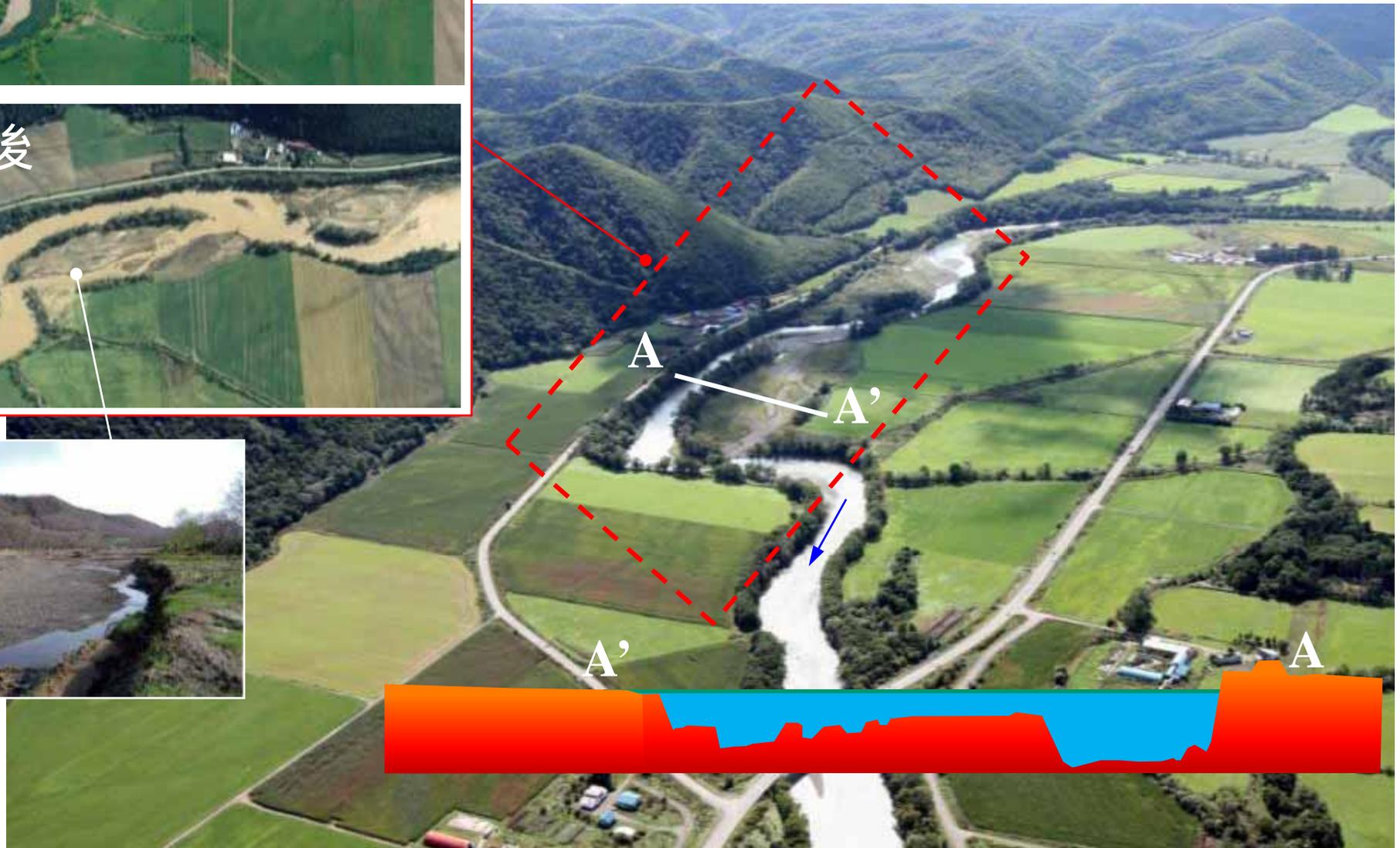
H15



H18洪水後

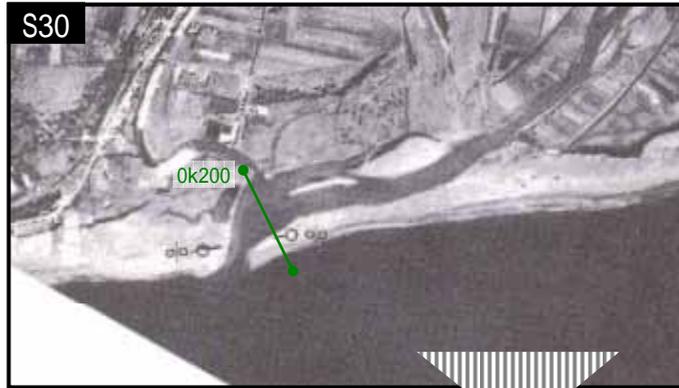


記念橋より上流の区間は、目標流量を安全に流すための断面が不足するが、堤防もなく掘込河道であり、氾濫域が拡散しにくい。

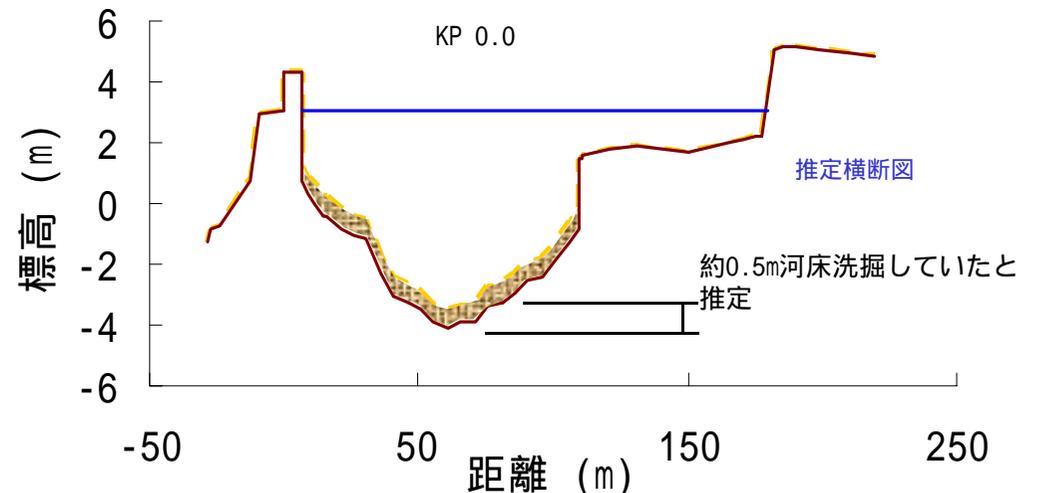
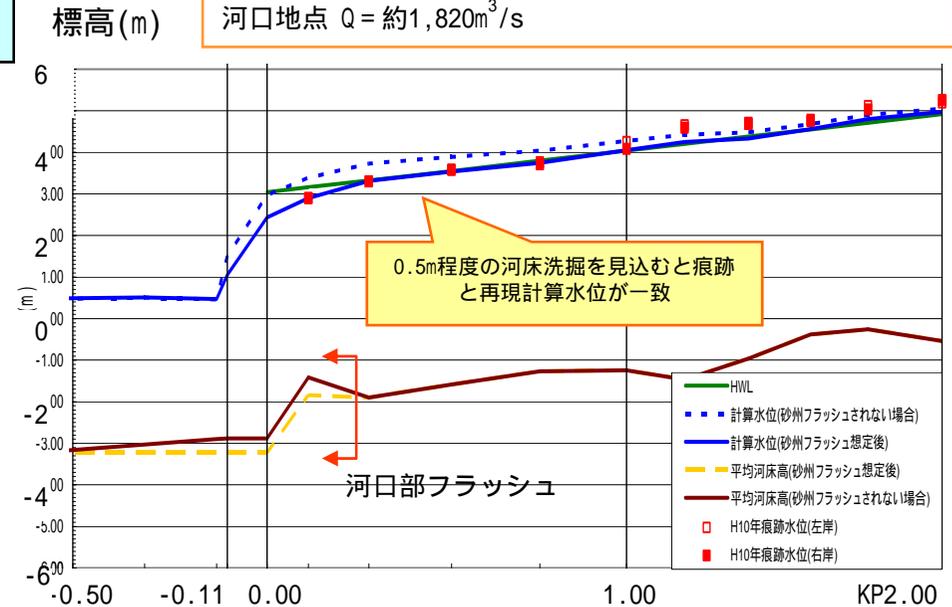


河口部の河道掘削について

導流堤建設(昭和57~63年、左岸完成)後も小規模な河口砂州が形成されるが、洪水時にはフラッシュされている



平成10年9月洪水(既往最大) 痕跡及び再現計算水位縦断面図
河口地点 $Q = \text{約}1,820 \text{ m}^3/\text{s}$



平成10年洪水の痕跡を再現すると、河口部の河床は約0.5m低下していたものと推定される
洪水時の最大洗掘深や水位など洪水時の各種水理データの収集等モニタリングを行い、必要に応じて河道計画や適切な管理に反映させる